

Spoon-billed Sandpiper

ヘラシギの現状と 国際的な保護の取組み



Can we save the
spoon-billed sandpiper?

<http://www.eaaflyway.net/our-activities/task-forces/spoon-billed-sandpiper/>

2016. 5. 29 日本野鳥の会大阪支部 納家 仁

ロシアで人工孵化→中国で越冬→



足にフラッグをつけたヘラシギ
(左)。右はハマシギ＝4月13
日、泉大津市、福田幸充さん撮影

世界で絶滅が心配されている渡り鳥のヘラシギが、泉大津市の海岸部で確認された。日本野鳥の会大阪支部の福田幸充さん(76)＝松原市＝が撮影した。ヘラシギの足環から、3年前に極東ロシアで人工孵化され、今冬に中国で越冬したオスだと分かった。専門家によると、人工孵化したヘラシギの渡りの中継地が確認されるのは珍しい。

松原の福田さん撮影

足環の番号 山階鳥類研が確認

泉大津の海岸部

ヘラシギ確認

絶滅危惧ⅠA類

同支部によるとヘラシギは体長14～16センチ。シベリア北東部のチュコト半島周辺で繁殖し、ミャンマーやタイなどで越冬する。世界全体の個体数は400羽程度とみられ、ロシアと英国などで保護の取り組みが進む。日本は渡りの中継地で干潟や湿地に飛来し、環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されている。

福田さんがヘラシギを見つけたのは4月13日午前。泉大津市の海岸部で10羽ほどの群れを見つけ、カメラを構えた。1羽が顔をあげると、ヘラ状のくちばしをしたヘラシギだった。

飛び立つまでの29分間で約150枚を撮影。足にはフラッグと呼ばれるプラスチック製の標識や金属製の足環があり、標識をつけた鳥のデータを収集する山階鳥類研究所(千葉県我孫子市)に画像を送った。

研究所が足環の番号を調べたところ、2013年7月5日にチュコト半島で人工孵化し、同年8月に放鳥され、昨冬と今冬に中国広東省の河口で越冬したオスと確認された。茂田良光研究員は「ヘラシギの渡りの報告例は年間数羽程度ある

が、人工孵化した個体の渡りの経路が確認できたのは極めて珍しい」と話した。

同支部によると、府内でヘラシギを確認したのは10年ぶり。福田さんは会社を退職した8年前から野鳥撮影を始めたが、今回は興奮で手が震えたという。「南で越冬した渡り鳥が、北に向かうため大阪湾に飛んでくる。これからも飛来できるように、海岸線の干潟と湿地を残してほしい」

同支部は29日午後3～5時、大阪市天王寺区清水谷町の「NEXT21」2階ホールで野鳥写真発表会を開く。ヘラシギの画像も公開し、福田さんの報告もある。入場無料。事前申し込みも不要。(村上潤治)

2016年4月13日 泉大津市で確認されたヘラシギ 撮影 福田幸充氏









ヘラシギ 右の足にフラッグ標識「MA」の文字
ロシアでの人工増殖プロジェクト（ヘッドスタート・プロジェクト）
で2013年に人工ふ化し、現地で放鳥された個体と判明

ヘラシギ（環境省レッドリスト「絶滅危惧IA類」指定）の現状

チドリ目、シギ科の水鳥で、体長は14-16cm、名前のおりへら状のくちばしが特徴。英名はSpoon-billed Sandpiper（略称SBS）

極東ロシアのチュコト半島などで繁殖し、冬期になるとミャンマー・バングラデシュ・タイ・中華人民共和国南東部などへ南下し越冬する。日本には渡りの途中に飛来する「旅鳥」。渡りの中継地や越冬地では干潟や湿地に生息し、広い嘴を左右に振って泥や砂の中にいる獲物を捕らえたり、嘴で泥や砂の表面をつついたり、空中の昆虫（ミギワバエなど）を挟みとったりする。

近年（特に2000年以降）、急激に個体数が減少し、現在の世界全体の個体数は400羽（成鳥）以下といわれている。主な減少の理由は、越冬地でのかすみ網を使った食糧としての水鳥の捕獲や干潟の開発などによる中継地の破壊などが考えられる。

2010年から、国際的な保護の取組み（人工繁殖プロジェクト）がスタートし、今後の個体数の回復が期待されている。

ヘラシギ 「MA」の旅

Spoon-billed Sandpiper Task Force
News

越冬地から繁殖地への
旅の途上に泉大津に飛来
2015年冬に広東省で発見
されたヘラシギのうち7羽に
は足にフラッグが付けられ
ていました。うち1羽にはMA
と刻まれた白いフラッグが
足に装着されていましたが、
この鳥は2014年の冬も同じ
場所で記録されていた個体
でした。

繁殖地 ロシア チュコト自治管区
2013年7月5日 人工ふ化
2015年同じく人工ふ化個体のメス
「LA」とつがいとなり繁殖

中継地 大阪・泉大津市
2016. 4. 13

越冬地 中国広東省福成河口
2014年と2015年に越冬



Photo credit: Zhang Wei

Fig. 2. SBS with White leg flag engraved "MA"
sighted in Fucheng, Leizhou, Guangdong.

ヘラシギの保護のための活動

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ（EAAFP）では、ヘラシギを絶滅の危機から救うため、2010年にタスクフォース（Spoon-billed Sandpiper Task Force）が設けられヘラシギの越冬地であるミャンマー、バングラデッシュの沿岸を中心として、現地のNGOとともにヘラシギの保全のみならず沿岸湿地の保全、渡り鳥と地域社会の保全にむけた取り組みを展開中

saving the
spoon-billed sandpiper



Home | Spoon-billed Sandpipers | The Project | Meet the team | Latest news | Donate

The spoon-billed sandpiper is facing imminent extinction

Can we save the spoon-billed sandpiper?

The operation to save it is underway

The spoon-billed sandpiper is hurtling towards extinction. Fewer than 100 pairs remain in the wild, together weighing less than a single mute swan. Without urgent action, it could be lost forever.

In a bold step, we have made two expeditions to Far East Russia to start a conservation breeding programme for the spoon-billed sandpiper.

You can help save this incredible bird ...
Find out how

Latest project news

- The 2015 headstarted birds move to their wintering grounds
04 Dec 2015
- Headstarting continued: more great news from further along the flyway
23 Oct 2015
- Filming the ground running
21 Sep 2015

保護活動 人工増殖の取組み

人工増殖プロジェクト 2010年～

- ・ 英国WWT (Waterfowl and Wetlands Trust=水鳥湿地トラスト) による取組み
営巣地で巣から採取した卵を英国の施設で人工ふ化し、保護増殖

・ ヘッドスタート・プロジェクト 2012年～

ヘラシギの繁殖地である極東ロシア、チュコト半島での取組み
営巣地で巣から採取した卵を現地で人工ふ化し、飼養のうえ、
現地で放鳥し、自然ふ化の個体とともに渡りに参加させる。





The first clutch of Spoon-billed Sandpiper eggs



Spoon-billed Sandpiper: Hatch



Release pen near the village

Pavel Tomkovich



Young SBS in the release pen

Pavel Tomkovich



Roland Digby fishing for the chicks

Pavel Tomkovich

■ヘッドスタート・プロジェクトで 放鳥された2羽が2015年につがい となり繁殖！

「MA」は、2013年7月5日にロシア、チュコト半島のメイニビリギノで人工ふ化したオス個体で、同年8月6日に放鳥された。

2015年には、同じく人工ふ化個体のメス「LA」（下）とつがいとなり繁殖した。



Head-started birds successfully returning Egor Loktionov



Re-sighted flagged birds on the breeding grounds in Chukotka

Pavel Tomkovich

シギ・チドリたちの苦難



干潟の開発などによる中継地の破壊



Dunlin trapped in mistnet at Fucheng, Leizhou, December 2012 (photo: Jonathan Martinez), Spoon-billed Sandpiper trapped in mistnet at Zhanjiang, March 2003. (Photo: Fasheng Zou)

越冬地でのかすみ網を使った食糧としての水鳥の捕獲

保護啓発活動

児童、生徒への環境教育、密猟防止対策



ヘラシギのアニメの制作
『Journey of spoon-billed
sandpiper』（旅するヘラシギ）

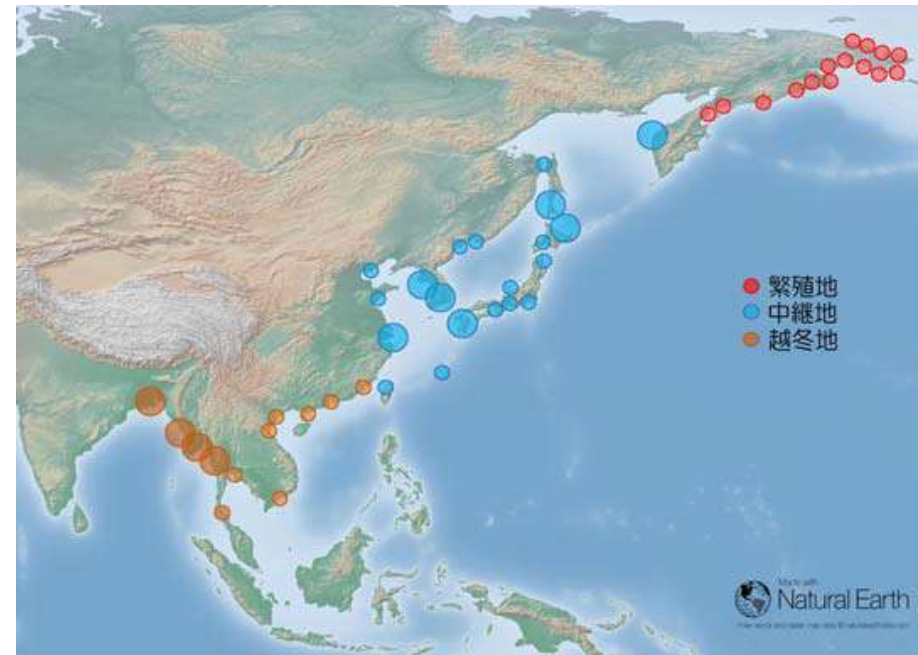


日本野鳥の会は、香港バードウォッチング協会の依頼を受け、ヘラシギと湿地の保護を訴える国際環境教育事業”Journey of Spoon-billed Sandpiper”制作プロジェクトに協力しました。ヘラシギの渡りをストーリーにしたモノクロの原画に、子どもたちが色を塗ってアニメーションを完成させるもので、渡りルート上8か国・500人の子どもが参加しました。世界各国の子どもたちからの「ヘラシギを守ろう！」というメッセージが込められたアニメーションです。

国際的な調査の実施とモニタリングネットワークの誕生

ヘラシギの繁殖地、中継地、越冬地を対象とした飛来数とその分布についての国際的な調査、継続的なモニタリングは重要です。近年、EAAFPヘラシギタスクフォースを中心として、国際的なネットワークの構築が進んでいます。

日本国内ではモニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査のネットワークを中心として、これまで継続的にヘラシギの観察記録が収集されてきました。今後、ヘラシギの個体数の推移を明らかにするために、また人工孵化によって育てられたヘラシギの渡り成功率を推定するために、日本国内ではオホーツク沿岸、石狩川河口域といった比較的観察記録数が多い地域について、重点的に調査する体制が必要になると考えられます。



The Spoon-billed Sandpiper is one of the rarest migrant birds in the world. It is declining at an alarming rate and will become extinct within the next decade without our help. We still have a lot to learn about their breeding areas, migration routes and wintering areas so every record adds valuable information. Your help with this is crucial!

This leaflet explains the moult and plumage patterns of Spoon-billed Sandpipers to help you record as much information as possible.

Sp
o

© MJ McGill/ WWT

Can you imp

If we do not know where they are, we have no chance of helping them.

© M.I. McGill / WWT

Can you improve our knowledge?

| | January | February | March | April | May | June | July | August | September | October | November | December |
|---|---------|----------|-------|-------|-----|------|------|--------|-----------|---------|----------|----------|
| <i>Likely locations</i> | | | | | | | | | | | | |
| Russian breeding grounds | | | | | | ■ | ■ | ■ | | | | |
| <i>Northern stopover sites:</i> Russian east coast between Sakhalin and Kamchatka | | | | | ■ | | ? | ■ | ■ | | | |
| <i>Southern stopover sites:</i> Japan, Democratic Republic of Korea, Republic of Korea, mainland China | | | | ■ | ■ | | | ■ | ■ | ■ | ■ | |
| <i>Wintering sites:</i> China, Vietnam, Thailand, Myanmar, Bangladesh, India and others still unknown | ■ | ■ | ■ | ? | | | | ? | ? | ■ | ■ | ■ |
| <i>First summer stopover/moulting sites:</i> Countries are still uncertain. Some in China but probably most are the same as the wintering sites | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | |

The plumages of Spoon-billed Sandpipers throughout their life

■ Yellow shows a month when a bird is likely to be transitioning between plumages

[illegible]

今後、人工ふ化個体の観察例
が増えることが期待される

Spoon-billed sandpiper in Japan



Spoon-billed sand piper has been visiting on wetland of the Japanese islands. 304 sighting records were collected in the past 50 years. Now, they are facing serious threat of extinction.

Estimated population is under 300.

This is only an example of **BIODIVERSITY LOSS IN ASIAN WETLAND**. Many other shorebirds also face the same threat.

Let's save the spoon-billed sandpiper as a symbolic shorebirds in Asian wetland.

southwestern islands of Kyushu and Okinawa archipelago

Ramsar Network Japan

Responsibility for wording of an article: TOMIDA Hiroshi and KASHIWAGI Minoru.



人工ふ化個体の観察は2015年9月4日の伊達市（「V6」刻印フラッグ装着個体）に続いて日本では2例目



2016 marks 10 Years since the launch
of EAAFP!



東アジア・オーストラリア地域フライウェイ
パートナーシップ 10周年

Сохраним кулика-лопатня
Мыныгйипгъэн вылпатъек'

ヘラシギを守ろう

ଳ୍ପକ୍ତବୁରୀଦୌୟୁକୁହାଜା

拯救勺嘴鹬

HäybåovêloàiRēmỏthìa

រក្សាមកងាយលេងហាងខ្នង

ရေညောင်နှုတ်ဝိုင်းငှက်များ တည်တံ့စွဲ တို့များဝိုင်းဝန်းထိန်းထိမ်းခွဲ

SelamatkanKedidiParuhSudu

মুচ-চুঁটো বাটান বাঁচান

சரண்டி மூக்த உள்ளானை
காப்பாற்றுவோம்

Rettet den Löffelstrandläufer

Save the Spoon-billed Sandpiper

